

7月中旬オープン予定 藤島歴史公園に花苗の定植 庄農生と地域住民で

7月中旬にオープン予定で整備されている藤島歴史公園（藤島庁舎西側）に3日、庄内農業高校の生徒と地域住民のボランティアで花壇に花苗の定植がおこなわれました。この日参加したのは、庄農生徒14人と先生2人、元町6町内会から地域住民ら50数人の他、東田川文化記念館の役員や市職員などで、花苗は庄農生徒が育てたペゴニアやマリイゴールド、サルビア、ダリア、キンギョソウ、メランポジウムなど6種類です。歴史公園は現在、芝生の整備が進められ、メインとなる藤の大藤棚1基と藤のトンネルが2基が完成し、藤の開花は3〜4年後の予想となっています。



鷺畑山1号墳 第3次調査始まる

鷺畑山1号墳の第3次発掘調査が6月2日（火）から始まりました。最終日の8日（月）午後2時から現地説明会が予定されています。今回の3次調査は、墳丘西側のトレンチ（試掘溝）を調査し、盛土状況等を明らかにするもので、本古墳の全容解明を更に進めるものです。発掘調査会（川崎利夫会長）では作業ボランティアを募集しています。

藤島老ク連が鶴岡市老ク連と統合

藤島老人クラブ連合会（鈴木紀生会長・21クラブ・954人）は4月21日の総会で鶴岡市老人クラブ連合会（小林達夫会長）へ統合することを決め、6月1日、市総合保健福祉センターにこ・ふるで調印書を交わしました。藤島老人クラブ連合会は市町村合併後も県の連合会に直接加盟を続け、市の連合会に入らず独自活動を続けてきました。



藤島老ク連の鈴木会長（左）と市老ク連の小林会長（右）



統合を祝い祝杯

しかし、厚生労働省の「老人クラブ活動等事業実施要綱」により、国・県・市の補助を受けるには市町村に連合会は1つという要綱に従う必要があるとの県連と市の指導により、統合を判断したものです。

今月9日に市中央公民館で開催される市老ク連の総会で統合が正式に議決される予定です。今回の統合で市老ク連は6支部、単位クラブ数148、会員数6129人の組織となります。

独裁者の匂い 安倍総理

共産党・志位委員長のように 真摯な態度で語れ

(新町 T・S)

安倍総理になってから治安維持法の再来と思われる特定秘密保護法、ワーキングプアーを増やすだけの雇用関係法、教育関係法、それに憲法を無視した戦争法案等々、まるで自分一人でも決めてくれるとも思っているような態度や美辞麗句を散りばめただけの言葉に酔っている姿をテレビ等で見ていると、

嫌悪感を感じるのほは私だけだろうか。

安倍政権になるまでは再び日本が戦争で人を殺したり殺されたりする事なんてありえないと思っておりましたので戦争法案の本身は殆ど知りませんでした。

日本には永久に戦争を放棄した憲法があり主権は天皇ではなく国民にあると書かれているから、再び政府の都合や一部の好戦的な人々によって戦争の惨禍を被ることは考えられませんでした。

しかし安倍政権発足以来危ないと強く感じられますので我慢をし

て国会中継を見るようにしております。

先日の党首討論では共産党の志位委員長から日本が破滅をしようとしたか判らない様な重大な宣言となったポツダム宣言について質問されても読んだ事がないのか理解しようとならないのか判りませんがトボケておりましたし、特別委員会の質疑で野次を飛ばしたり、およそNHKで放送している韓国の中世の王様のドラマを見ているようで自民党にももつと立派な人がいるのではないかと思ったりします。

数年前、バンクーバーでドイツからの移民

『フアーブル昆虫記』（昆虫の生態観察）、ジャン・リアン・フアーブル没後100年

―「しんぶん赤旗」を読んで 青山 崇

しんぶん赤旗5月29日付「文化の話題」欄フアーブル昆虫館館長ここを運営する日本アンリ・フアーブル会理事長でもある奥本大三郎氏が、「心奪われた少

夫婦の家にドイツ人留学生と一緒に住んでおりましたが、その家庭で「ヒットラー」という名前を聞く事はありませんでした。

ましてや第2次世界大戦と一緒に戦ったという特別な感情を私に感じさせる事もありませんでした。

メルケル首相が言うようにドイツが引き起こした2つの大戦をきちっとお詫びをしているのです。2度と戦争をしないし他の国に迷惑はかけられないと。

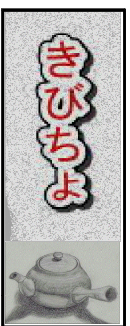
安倍首相も国民が苦勞をして納めている年金積立金で株価を上げて一部の人大儲けさせたり、超金融緩和で政権の延命を図るより、もつと落ち着いて自分のやっている事を振り返る必要があると思いません。

年の日 日本人は虫に囲まれて暮らしてきた」として、『フアーブル昆虫記』の魅力を書いている。江戸時代の句「行水の捨てどころなき／むしのこゑ」を紹介し、行水する庭じゅうが、チンチロリン、リーンリーン、スイツチヨと虫の鳴き声で、冷水をあびせるのもかわいそうで、水を捨てられない。日本人と虫のかかわりを端的に表しているという。

フアーブル会の目標は、「子供たちは遅く

いての感覚、美意識をとりもどしてもらおう」とである。

私は彼より12歳上でしかも田舎だったから強く共感する。川・田圃・畑・草地などが私の遊び場で、蛇なども遊び友達で怖いなどは少しも思わなかった。「仲間と自然の中で遊ぶことによって健全な人間として必要な様々な感覚、能力を身につけること」が、子どもを巡る凄まじい事件などをなくす近道なのかも知れない。



子どもの頃にソックリ

米国と一緒に戦争がしたいための安全平和と称する委員会が、小学校時代を思い出させたんだ。それは民主党の女性議員の質問に対し首相のヤツテルことだ。マサシク俺達子ども頃にソックリの状況がそこにあつたのだ。

特別委員長は、これがマトモな議論で国民に分かつてもらつてると思つてるんだろうか。俺達は、こんな委員会やニュースでも、気をつけて見なければならぬのだが。

▼提案し答弁する者の行為としてハズカシイことです。日本で最高の言論の府ですヨ。憲法の解釈を変えて戦争ができる国にする法律を究明する場で、しかも国民に丁寧に話さなければならぬと日頃言つてる問題です。

▼何かを問えばハグラカシテ、マトモに答えないから本当のものが

出てこない。だから時間だけ費やしている状況。テレビを見ていても俺達には本当のことが分からない、となる。▼これを仕切っている

▼しかし、自衛隊員が死ぬことをリスキなんて言つてませんか。とんでもないことですヨ。

(石川)



しんぶん赤旗5月29日付